

令和7年度 総合体育館指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和6年度

施設のサービス水準の視点コメント

日常点検と応急手当てをこまめに実施し、事故を防止しつつ、有責事故及び重大クレームともに未発生であった。有事即応体制を維持することにより利用者の安全確保に努めた運営をすることができていたと認識している。

新規顧客獲得のため、若年層及び子育て世帯向けの新教室を開催するなど施設の魅力を高める自主事業についても、積極的に実施できていることを評価する。

収支状況 コメント

収入面については、改修工事のため3か月間メインアリーナ、会議室1、会議室2及びクラブハウスは使用不可期間があったため、予算額で設定していた目標には届かない点については理解できる。支出面については、最低賃金上昇に伴う人件費の高騰や光熱水費高騰が影響し、厳しい運営を行っている。

そのような中でも、何とか収入増加を目指し新聞折込みチラシの作成、オリジナルチラシの作成・配布およびホームページ更新など情報発信を行い施設の認知度向上と利用者数拡大に尽力していることを評価する。

市による総合評価 コメント

アンケート調査の結果からも、昨年に引き続き、総合体育館に対する施設利用者満足度は高い水準を維持できており、市が期待する施設運営が概ね実施できているものと判断する。

体育館の認知度向上及び新規顧客獲得のためSNS等を利用した積極的な情報発信を実施するなど、体育館利用、運動につながる動きを期待するとともに、これ以外にも施設の設置目的に寄与する事業を積極的に展開されることを望む。

メインアリーナ床の損傷については、令和7年4月末に改修工事の完了及び利用再開となることから、引き続き、有事即応体制を維持することにより利用者の安全確保に努めてくれることを期待する。

近年、放置自転車や若年層の市民が施設内や施設周辺でたむろし、たばこなどの問題行動を起こしている事象について、施設管理者は一丸となり、他の利用者が安全に気持ちよく施設を利用できるよう、声掛け等を実施し、警察とも連携しながら対応を行っていただきたい。引き続き施設管理者として対策を検討し、毅然とした対応を実施していただきたい。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A： 協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B： 概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C： 協定事項等の水準以下であった